



第3学期始業式



校内書き初め大会

学校教育の大転換期……虎穴に入らずんば虎子を得ず

校長 若狭 茂

明けましておめでとうございます！不思議なもので、日々同じ「日没・日の出」のはずですが、大晦日から元日にかけては、なんだか「門」や「鳥居」をくぐるような感覚があります。子供たちには、1年の間に「生まれ変わるチャンス」が「3回ある」と言われます。その1回が「正月」です。特に、昨年、自分の思ったような成果が出せなかった人ほど、「新しい年」を「新しい気持ち」で歩み、自分の目指すところに近づいてほしいと願います。（3学期の始業式でも、このような話をしました。）

100年に1度と言われるパンデミック・コロナ禍で丸2年が経過し、学校としても今まで「当たり前」だったことが「当たり前」でないと分かり、行事・活動の「意義・必要性」を改めて見つめ直す機会を得ました。膨らみ過ぎた教育活動・学校業務から、「本当に子供たちのためにすべきこと」「学校こそが担うこと」など、労力や費用対効果などを考えながら「選択と集中」が求められる今日この頃です。（この点において、保護者や地域の皆様の更なるご理解とご協力をお願い致します。）

今の小学校での教育は、保護者や地域の皆様、そして私たち教職員ですら、自分たちが子供時代に受けてきたものとは大きく異なっています。例えば、①**インターネット利用・デジタル化** コロナ禍で GIGA スクール構想が前倒しとなり、子供たちが「文房具の一つとして」ノート PC を使う学習が普通になっています。それに伴い、健康被害（視力低下、依存症等）・ネットトラブル（ネットいじめ、誹謗中傷等）の防止対策も必要となっています。②**外国語・国際理解教育・グローバル化** 3年生以上が週1・2時間、外国語（英語）を学習し、一昔前は中・高校生以上で可能だった日常的な英会話を、今の小学生は事も無げに行っています。環境問題（気候変動）、感染症、ネット社会等に国境はありません。SDGsへの取組のように、今後ますます様々な国々との協力・連携が必要となる時代に対応できる力をつけています。③**人権意識・ジェンダー平等** 「男の子は黒色、女の子は赤色のランドセル」「男子はズボン、女子はスカート」など、社会的・文化的にできた慣習を解消するようになっていきます。性別や障害の有無などに関わらず、全ての人が「人」「個」として尊重される共同社会の実現を目指した教育を推進しています。

令和4年も、「前門の**虎**、後門の狼」（一つの災難を逃れても、また災難が襲ってくる）でしょう。「**虎**の尾を踏んでは」（大変な危険を冒しては）いけません、「**虎**穴に入らずんば**虎**子を得ず」（危険を避けてばかりいては、大きな成功もあり得ない）とも言います。新型コロナに負けず、慎重かつ大胆に子供たちを育てていきたいと思っております。本年も、どうぞ宜しくお願い致します。

【校内書き初め大会】

始業式後に校内書き初め大会を行いました。子供たちは、真剣な表情でそれぞれの学年の語句を書き上げていました。

3年生以上は、体育館で揮毫を行いました。しんと静まりかえった体育館で、子供たちは、心を新に一筆一筆丁寧に書き上げていました。

冬休みの練習の成果が表れ、満足できる作品になったようです。

